

手話教室



手話教室では、渋川聴覚障害者福祉協会会員の方を講師に迎え、耳が聞こえなくなった原因や生活で困った事、普段の生活で使用している機器などについてお話しいただき、子ども達も真剣に耳を傾けていました。また、挨拶や学校に関する手話を教えていただき、友達同士で実際に手話での会話を練習しました。スポーツや興味のある単語について質問する児童も多く、手話への関心も高まり、耳が不自由な方の生活について理解を深めることができました。



小林先生(北小学校)



星河先生(南小学校)

福祉教育推進事業

南北小学校総合学習の一環として4年生を対象に行われている福祉教育では、手話教室や車椅子体験、講話など様々なプログラムを実施しています。

車椅子教室



デイサービスセンターの森田生活相談員を講師に迎え行われた車椅子体験では、体験に入る前に「福祉」に関することや「車椅子」の仕組みについてお話しいただきました。日頃使用しているトイレと多目的トイレの両方を車椅子で入り、何が違うのか、どうしたら誰でも使えるようになるのかなど実際に体験しながら学び、また、スロープや段差などを使用し車椅子の介助についても学びました。「だれにとっても過ごしやすい南小に」というテーマを掲げており、学校内で日頃何気なく使っていたもの、通っていた場所などについて考えるきっかけになったのではないかと思います。

